

# スレイブ アスタ オビデマード

SLAVE ASUNA OBI-DEMAARD

SWORD ART ONLINE ASUNA YUUKI ONLY FANBOOK 001 // BOOK-1 CLOSE TO THE EDGE.



OVER 18 YEARS OLD ONLY  
**X**  
RATED

This book is  
only for  
NTR maniax!

001

SLAVE ASUNA OBI-DEMAARD

フフフ…おいたが  
過ぎるねえ

逃げられると  
思ったかい？

ククク…  
現実世界の君は  
もつとおとなしいと  
思ったが

こちらではだいぶ  
活発のようだね

さすが閃光と  
呼ばれただけの  
ことは

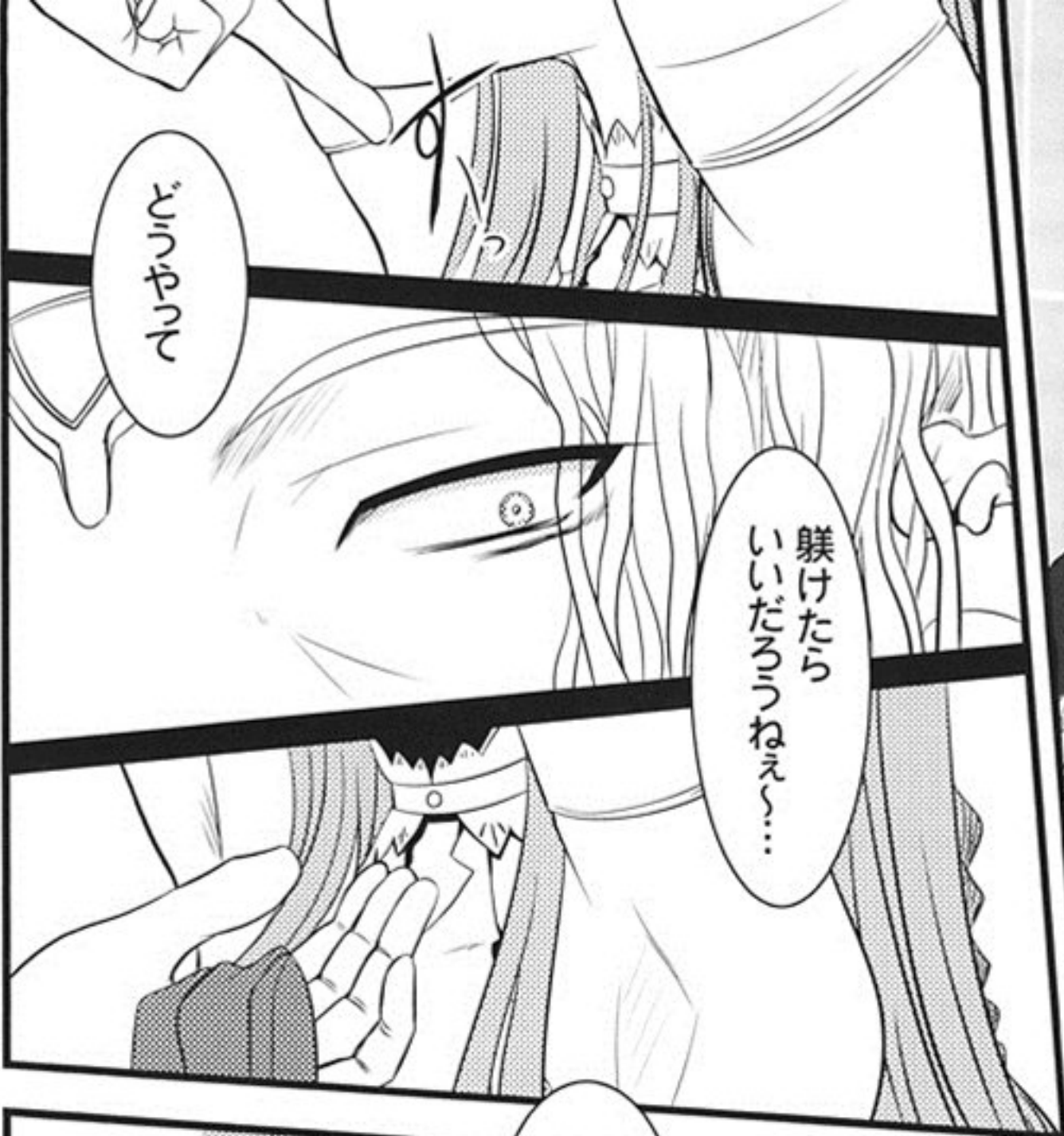
やめこ

あなたにその名を  
呼ばれたくはないわ

すてきな思い出を  
汚されたくはないと…

フフ…  
まあいいだろう

#001 CLOSE TO THE EDGE



寝けたら  
いいだろうねえ…

視線で  
射殺されそうだ

だから

何度も言うようだが  
君に無理強いは  
しないよ

だからこうしよう

君に今から与える  
罰に対してだ

罰……かな……

そう……罰だよ

その罰に耐える  
ことができたら

逆にほうびとこへ  
彼に会わせて  
あげてもいいくらいだ

寛容というか……  
ずいぶん自信ね

……どうせ拒否権  
などないだろうし

好きですわはいわ

理解が早くて  
助かるよ

半日ほど……君の体に  
訪れる変化に耐える  
……それだけだよ

決して苦痛ではないが  
軽い拷問のような  
ものともいえるかな

これも僕の  
研究の環でね

少し力を貸して  
ほしいという訳さ

吐き気があわわわ

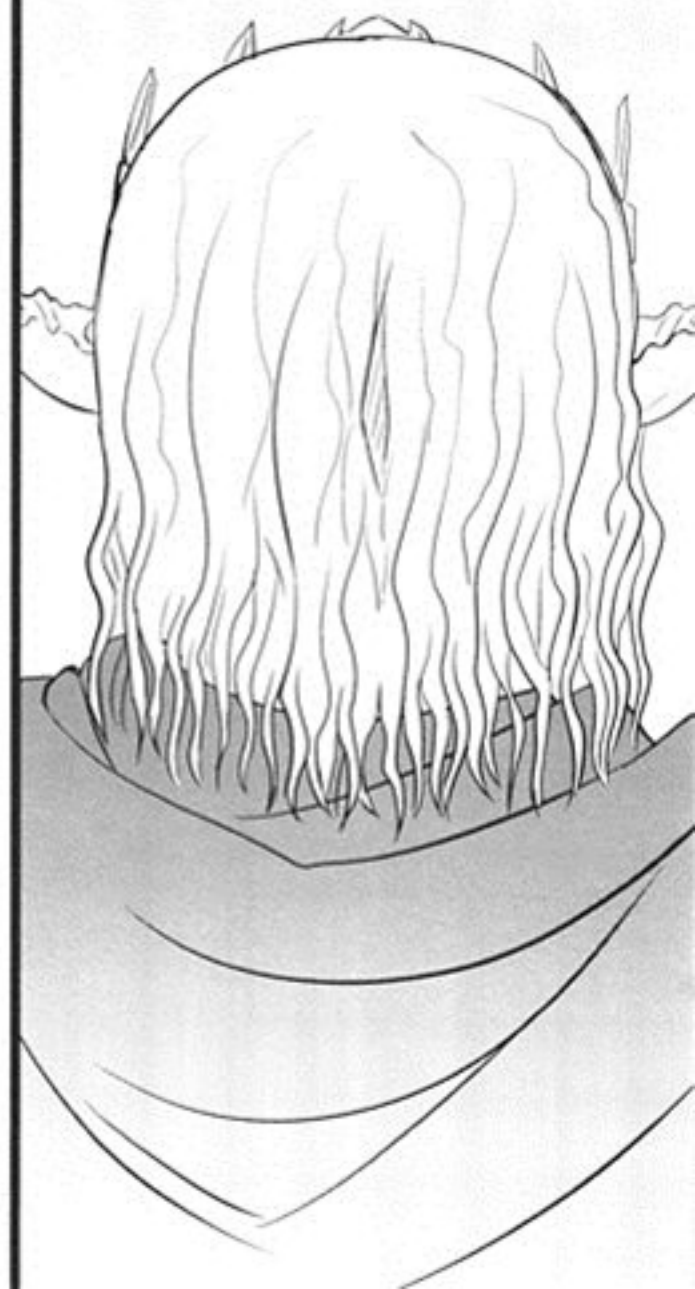
なに……罰といっても  
たいした事じゃない

褒め言葉として  
受け取っておくよ



ああ…それと  
彼に会わせると  
いっのは本当だよ

君の彼への想いと  
剣士の矜持とやらに  
期待してるよ…クク





そうか…  
こういふ事なのね

なのに感覚だけは  
敏感になっていて  
身じるぎつにも  
反応してしまう…

そいで…この状態も  
あいつはきつとモニタ  
して眺めている…

毛虫が這い回るような  
おぞましい感覚…

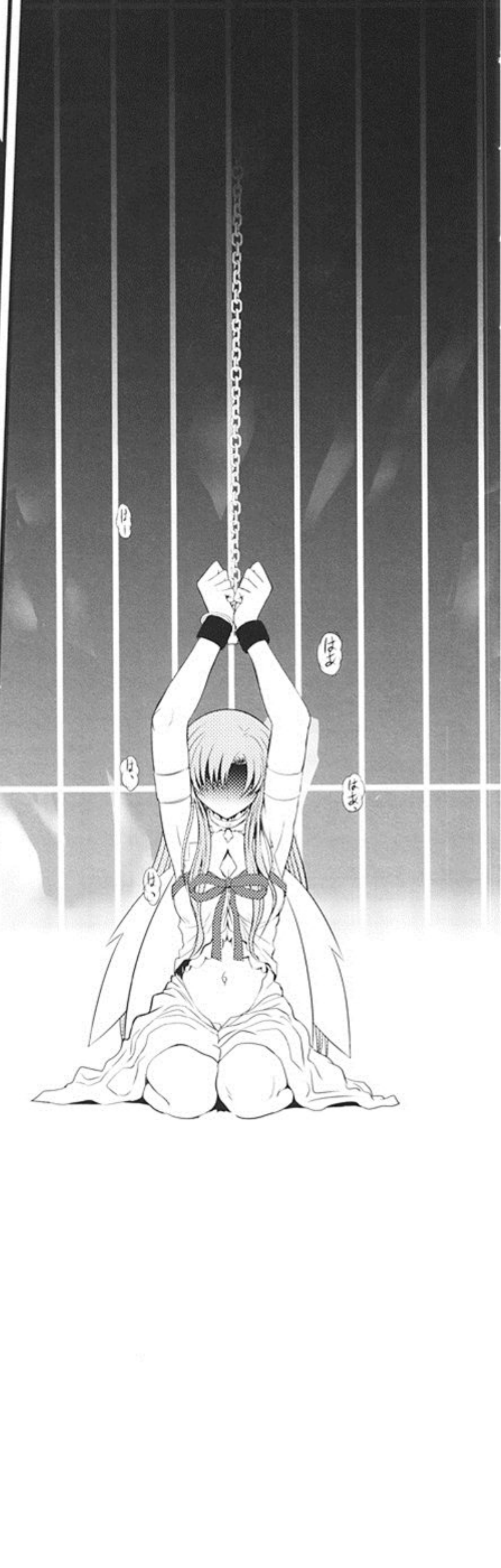
負けない…  
負けられない



キリトくん…  
私…負けないよ

体が…熱っぽい

意識にまで膜のような  
フィルターがかかって  
思考を鈍らせる





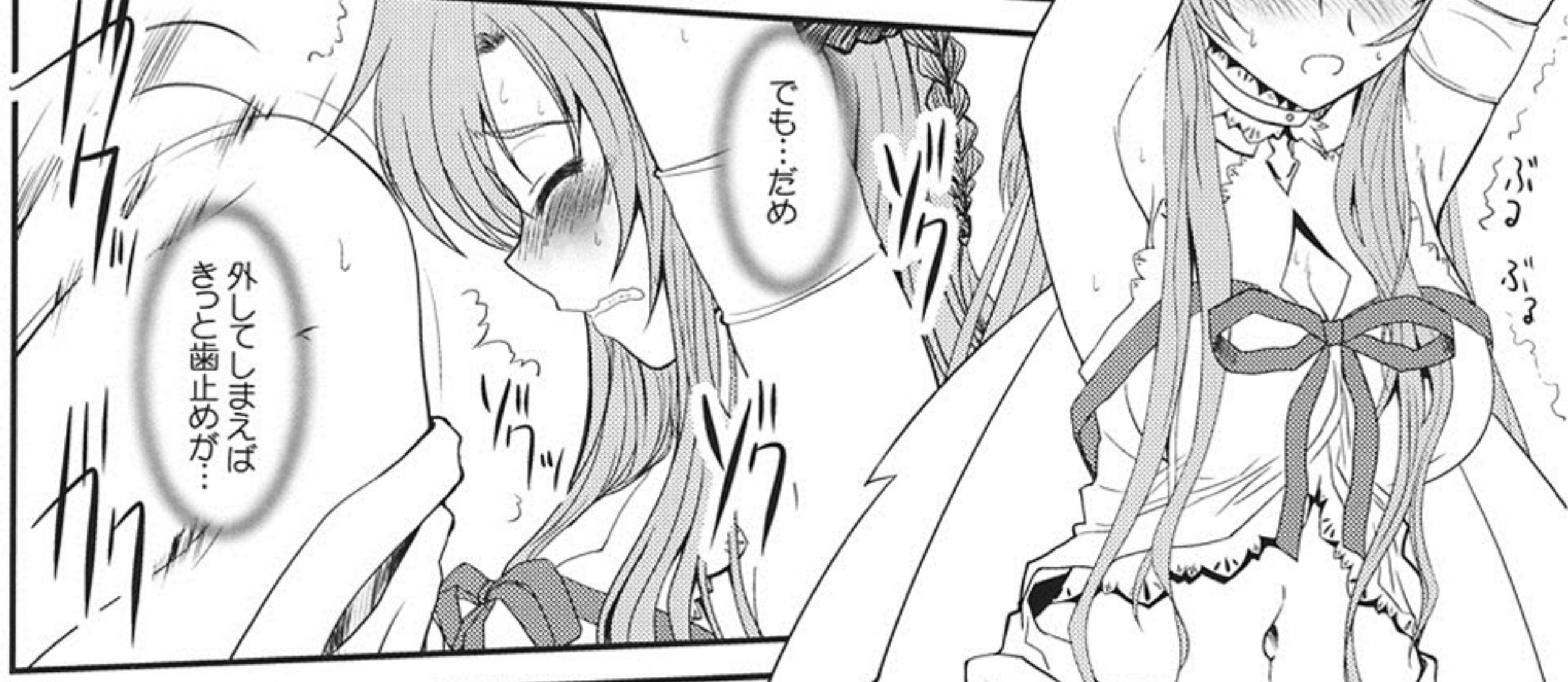
…だめ…もう  
こぼえ…られない

たあ…



この…まじり  
いじりたさじ

ん…ん…ん



外してしまえば  
きごと歯止めが…

んっ…たあ



んっ…んっ…

その手の戒めを  
解くのは簡単だよ

カキカキカキカキカキカキ  
カキカキカキカキカキカキ

カキカキカキカキカキカキ  
カキカキカキカキカキカキ

ただ  
こう口にする  
いいだけだ

わ……わ……

カキカキカキカキカキカキ  
カキカキカキカキカキカキ  
カキカキカキカキカキカキ

君はあくまで  
自分の意志でこの  
先を決めるわけだ

わ……わ……

わ……わ……





私…  
なに…なにや…ん

アイツが  
見…ん…の…の…

あ…ん…ん…ん…  
あ…ん…ん…ん…

ア…ン…ン…  
ア…ン…ン…  
ア…ン…ン…  
ア…ン…ン…

あ…ん…ん…ん…  
あ…ん…ん…ん…  
あ…ん…ん…ん…

キ…ン…ん…ん…

キ…ン…ん…ん…

あ…の…この…は  
じ…つ…じ…つ…な…れ…た

じ…つ…じ…つ…  
な…め…ま…わ…し…て…く…れ…た

じ…つ…じ…つ…な…わ…え…て  
じ…つ…ば…つ…て…く…れ…た

舌…で…じ…つ…ば…い…突…い…で…く…れ…た  
じ…つ…ば…い…が…き…ま…わ…し…て…く…れ…た

ぐ…る…る…

ぐ…る…る…

ぐ…る…る…

ぐ…る…る…

ぐ…る…る…

ぐ…る…る…



じゅぽじゅぽ  
いっぽい出してくれた

ぐぽぐぽ  
奥まで突いてくれた

じゅぽじゅぽ  
かき回してくれた

おなかいっぱい  
満たしてくれた

どれもこれも  
きもちよかった

ぜんぶぜんぶ  
きもちよかった

キリトくんが  
してくれしたこと

すごくかんじて  
すてきだった

それなのに…

だめなのっ

ぜんぜん  
きもちよくなれないの  
キリトくんのこと  
いくらおもっても

かんがえてもおもいだしても  
ぜんぜんかんじてくれないのっ

キリトくん…キリトくんっ  
なんでっなんでじゃまするのっ

もっときもちよくしてよ  
あのとときみたいにかんじさせてよ

あんなにきもちよくしてあげたのに  
きもちいいこと…じゃましないでっ

それだけじゃ  
ないっ

あんな…っ

あんなやつ顔が勝手に出てき



なんなのこれ…  
いざなのじい

あんな顔つ  
思い出したくも  
ないのに



目にしたこともないはずの  
その硬くそそり勁ったモノ

それを意識するだけで  
指が…勝手に…



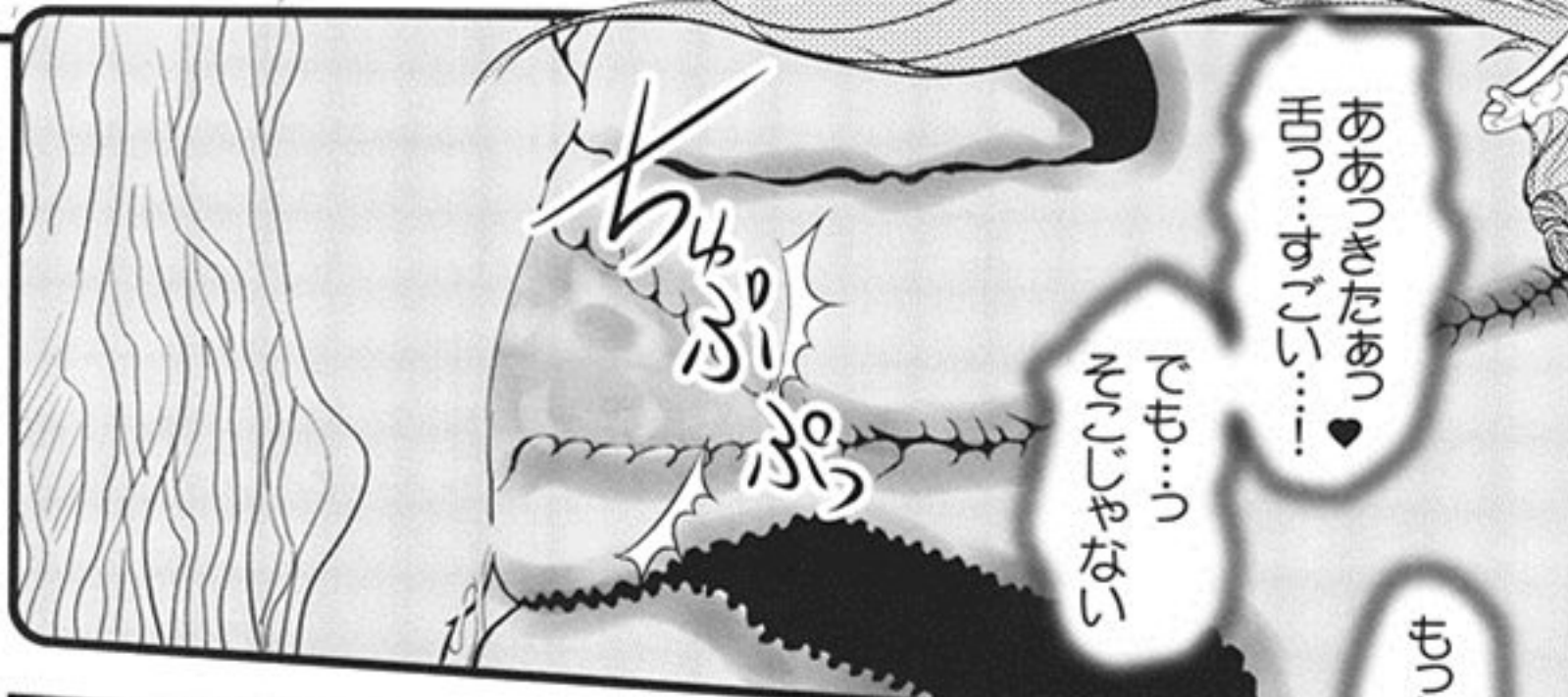
爬虫類のような目  
醜く歪んだ口元

見るのもいやな  
それらすべてが  
性感に直結してる

あからさまな  
イメージ操作だと  
わかっているけど…  
けど…



たのしい面影はあつた



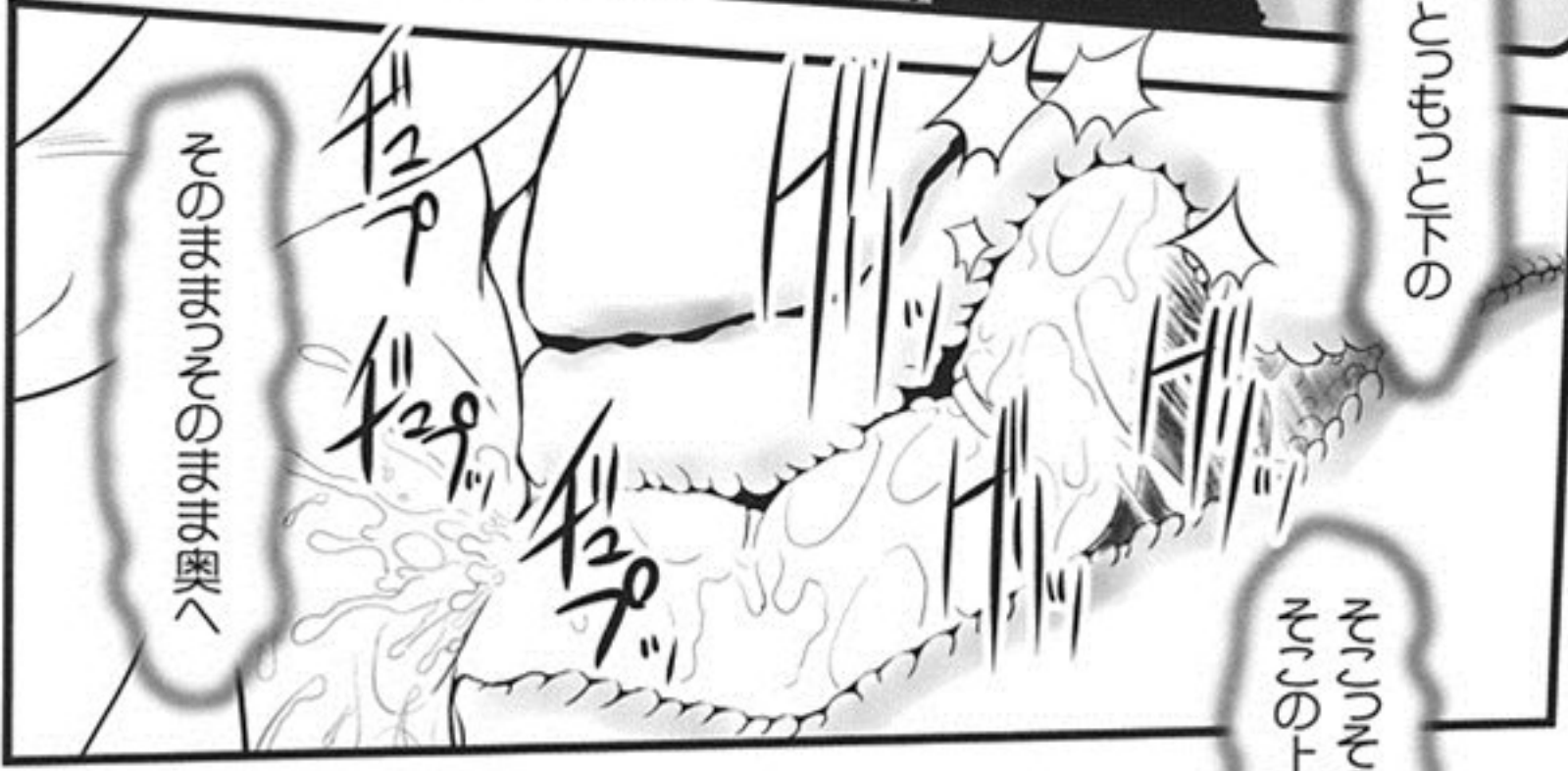
あめしきたあし  
チロ...すたじ...

キチ...  
そいじゃない

ちゅー  
ちゅー  
ちゅー



あめしきたあし



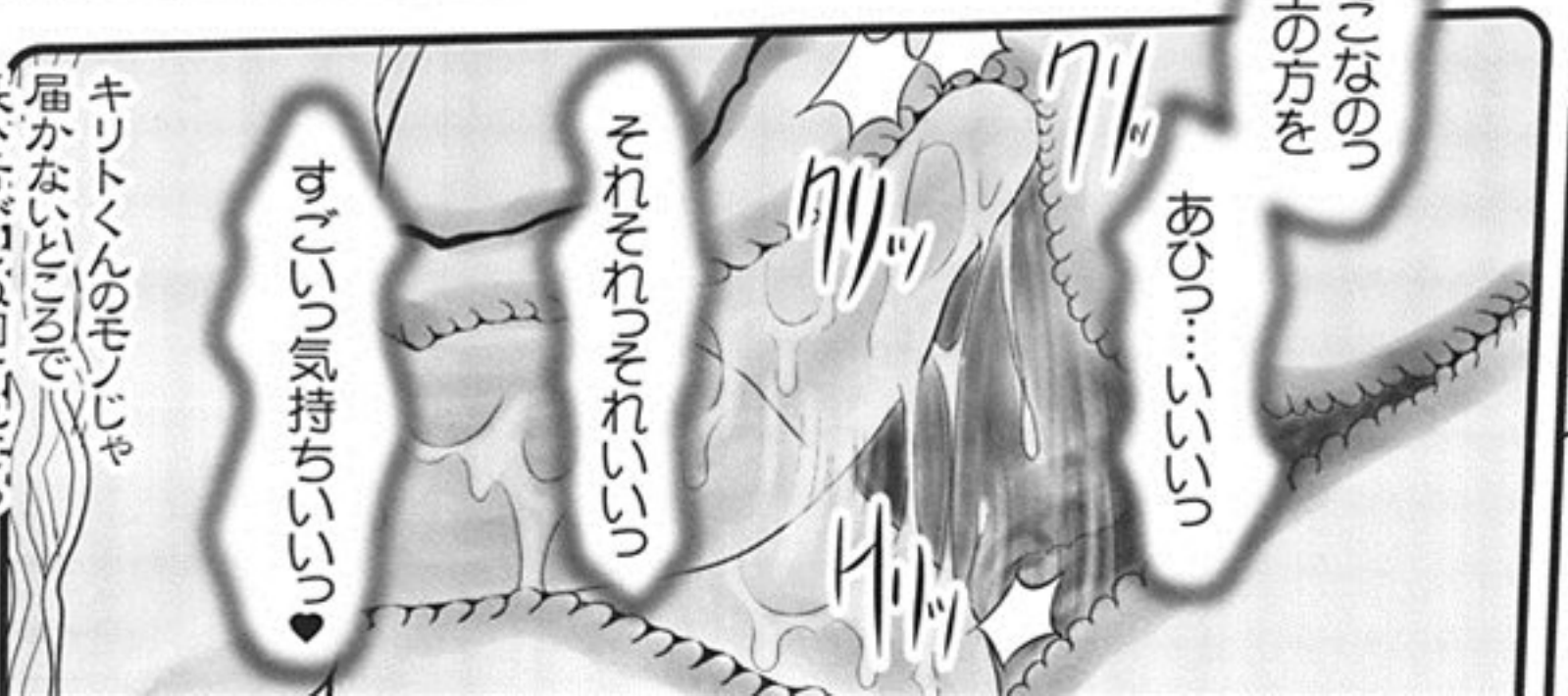
あめしきたあし

キチ...  
そいじゃない

あめしきたあし



オベイロンの舌が  
わたしのおまんこを  
はいずりまわして



あめしきたあし

あめしきたあし

あめしきたあし

キリトくんのモノじゃ  
届かないと...で  
長い舌がこね回される



この#6#6この#6#6  
おまごいかなお回し

いっす  
オベイロンの#6#6  
3366

ソレをイメージして  
行為をイメージして  
もっと...より直接的に

明確にイメージするほどに  
行為とシンクロして

イケるっ  
やっイケるっ  
イカせてこのまま

オベイロン：須郷に対する  
嫌悪感が...彼をその対象に  
するようになってから徐々に  
薄れはじめていることに...

イクイク

二つの行為は溶け合い  
昂り登りつめていへ

イ……ン……？



ん……な……  
なんでイケないの

イケないの

もう少しなの  
キリトくんとなら  
イケたの



イカせてイキたいイキたい  
イキたいイキタイの

もう少しなの  
もう少しなの  
イカせてイカせて

……ちがう……  
ごじやない



これは  
ニセモノのスイッチ  
ホンモノは……もと奥



アレ……欲しい……よ

この奥に……この指の  
先にあなの

ムクムクムクムク  
ムクムクムクムク

ホントウのスイッチ  
イカせてくれるスイッチ

とどかない……  
指じゃ……ダメなの……

あれでなの……



錯覚だとわかってるのに  
彼としたい……彼に委ねたら  
きつと気持ちがいいという  
思考へと染まっていく……



オベイ…□…  
なんじょ

なんじょ…



賭けは僕の勝ち  
みたいだから  
来てみたんだけどね

ちがひがひ

ちがひがひ  
これは…あ

クク…いいんだよもう  
とりつくろわなくなつて



アレが…欲しい…ですか



それに君が僕のことを  
マンスリのオカズにまで  
してくれるとは光栄だよ

ク…ククク…



いかに  
いかに



でもまだ  
終わってないよね？

SAOにいた君なら  
よく知っていると思うが

ここも同じなんだよ

ここALLOの  
コアプログラムは  
SAOSTIAー

この意味は君が今  
身を持って味わって  
いることだろうがね

そう…やほじ…

まあ君がここにいない  
彼を想って何度したかは  
知らないがね…ククク

私の中を絶望が覆った

クフ…  
これは言いすぎた

私として例外ではなく  
幾度となく自慰で  
身体を鎮めたりもした

このALLOでも  
食欲と同じく性欲も  
満たされない限りは  
決して収まることはない

ここからが本題だ

寛容な僕が君に  
ラストチャンス  
あげようと思っ  
てね

そうではなく  
僕は君を救済に  
来たんだよ

ましてや…異常なほど  
昂らされ…そして鎮める  
術すら持たない今の私…



返事…ないねえ

うんわかった  
やめにしよう

え

あれれ…  
目が釘付けだよ

あまりの興奮に  
ラグっちゃったかい？

すごい  
アしなら  
スイッチ入る

イケる  
イカせられる

じゃあそのまま



これだよ

これが君を救うモノだ

ん…  
こんな…



待って…！

待って…ください  
オベ…イロン

はつきりと自覚した



待って…  
どうするのかなあ？



そんな…やだっ  
行かないでっ

来るあてのない  
キリトくんのごとでも  
考えながら好きなだけ  
オナーしてっよ

このままじゃ私



私…もう…アレに  
…さからえない

わ…私…は…



ちゃーんと  
教えてくれないと  
わからないよお



それが自ら僕の  
チンポにむしゃぶり  
ついてるんだからねえ

嫌悪感など最初から  
なかったかのよう  
に彼へ丁寧に奉仕する



こんなに激しく...

彼にも  
したくないので...



そんなに  
言わせたいの？

ああ...君の口から  
聞きたいねえ...  
それも...下品にね

そっ...



実に感激だねえ...  
あの閃光のアスナが

おっと...  
ティターテ  
だったか...

ふん

ふん  
ふん  
ふん

それだけの匂い...  
舐めてみるだけで  
疼きが強まる...

あふれるのが  
止まらないっ

ああ...  
堅い熱いです...

一度タガが外れたら  
墜ちるのはあつという間

なるほど...  
言葉よりも態度でこ  
ころなのかい



でもねえ...  
ティターテ

言わなきゃ  
わからないことも  
あるよねえ...

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

私に快楽を  
与えてくれる人

ほしい…欲しいの  
オベイロン…さまあ

あなたの口…熱くて  
硬くなったおちんぼで

私のスイッチを  
入れてくれる人

既にこうだった思考も  
何もかもがおかしいと  
わかっているはずなのに

私の…発情おまんこを…  
かき回して…くたせたい

お願い…私を  
…イカせてください

そっし…  
たぐりたぐり  
奥までくたせたい…

くたせたい…くたせたい  
ステキな口よ

止められない…  
いや止めたくない

いっしょに早く入れ…



いいですねえ  
…そのかつら

あの凛々しい君が  
淫らにケツを振って  
はしたない姿を  
晒している

ほらティターア  
君は今何をして  
いるんだい？

彼の与えてくれる  
経験のない快楽が  
私をおぼれさせる

そうだねえ…そんなに  
僕のチンポが欲しいんだ？

むしる快感を高める  
魔法の言葉

は…い…私は…あ  
オベイロン…さまに  
ハメて…いたただきたく

おちんぼろ…シ汁を  
塗りつけて…おねだりを  
して…いませう

意味くらいは知っていた  
下品な言い回しも

屈辱や抵抗感が  
大きな快感に変化  
すると気づいてからは

だったらあつ!!

はい…欲しいです…  
おちんぼ…ハメた…

ひゃあっ ひゃあっ  
ひまなごひまなご





もっそもっと  
物欲しそうに  
ケツ振ってっ！

もっそもっとを  
擦りつけてっ！

ハメたいんだろっ！  
チンポくわえたいんだろ！

そう…それはまるで  
パブロフの犬のように

んしを言うほどに  
より快感を与えてくれる

あー…あーあーあー

ハメたいですっ…ちっ  
…ちんぽっ…まんこで  
くわえたいですっ

やがて…私は抵抗なく  
より下品に…より淫らに  
彼へと「言葉」を投げ  
かけるようになっていた

それらを…何度も  
何度も繰り返すうちに

はー

おまんこくちゅくちゅ  
しまっ……だかひめ…

クリンクリン  
とれちゅっ

イクイクイク  
クリだけで  
イツちゅっ

おお…潮吹いたか

クク…少し制限を  
緩めてやったら  
とたんにクリーキしたな

快樂にからめ取られ  
彼のががわわと  
心に染みこんでいく  
染められていってしまう

だがこのまん汁の量…  
いい頃合いだねえ

ねと

ティーターア  
頑張ったごほうびに  
そろそろチンポを  
めくんであげるよ

よく感謝しながら  
自分でハメてみなさい

彼のこの言葉を  
聞いた時

え…あの…その…

ぶる

どうしたんだい  
ティーターア?

ぞく

あの……さつきから…  
おまんこじゃなく…お尻に…

私の気持ちはこの  
表情がすべてだった

ん…そうかい

ぞく

だってこっちの方が  
もの欲しそうにほっかり  
口を開けてるよ

やあ…そんなしもじは

いや、体は正直だよ  
どちらが本当に  
欲していたのか…ね

ほら チンポを  
あてがって

あ

ぬちゅ

ぬちゅ

わずかな戸惑いと  
恐怖…そして…

わかるかい

してもらえる事への  
感謝とこれからする  
行為への期待感

ぐ

ぶ

ぶ

吸盤のように吸い付いて  
奥へ飲み込もうとしてるよ

そんな…そんな事…  
私…初めてなのに

初めて！  
それはうれしいねえ

口では嫌がっていても  
快感に飢えきった今は

じゃあ君のポナル  
処女は僕のものだ…

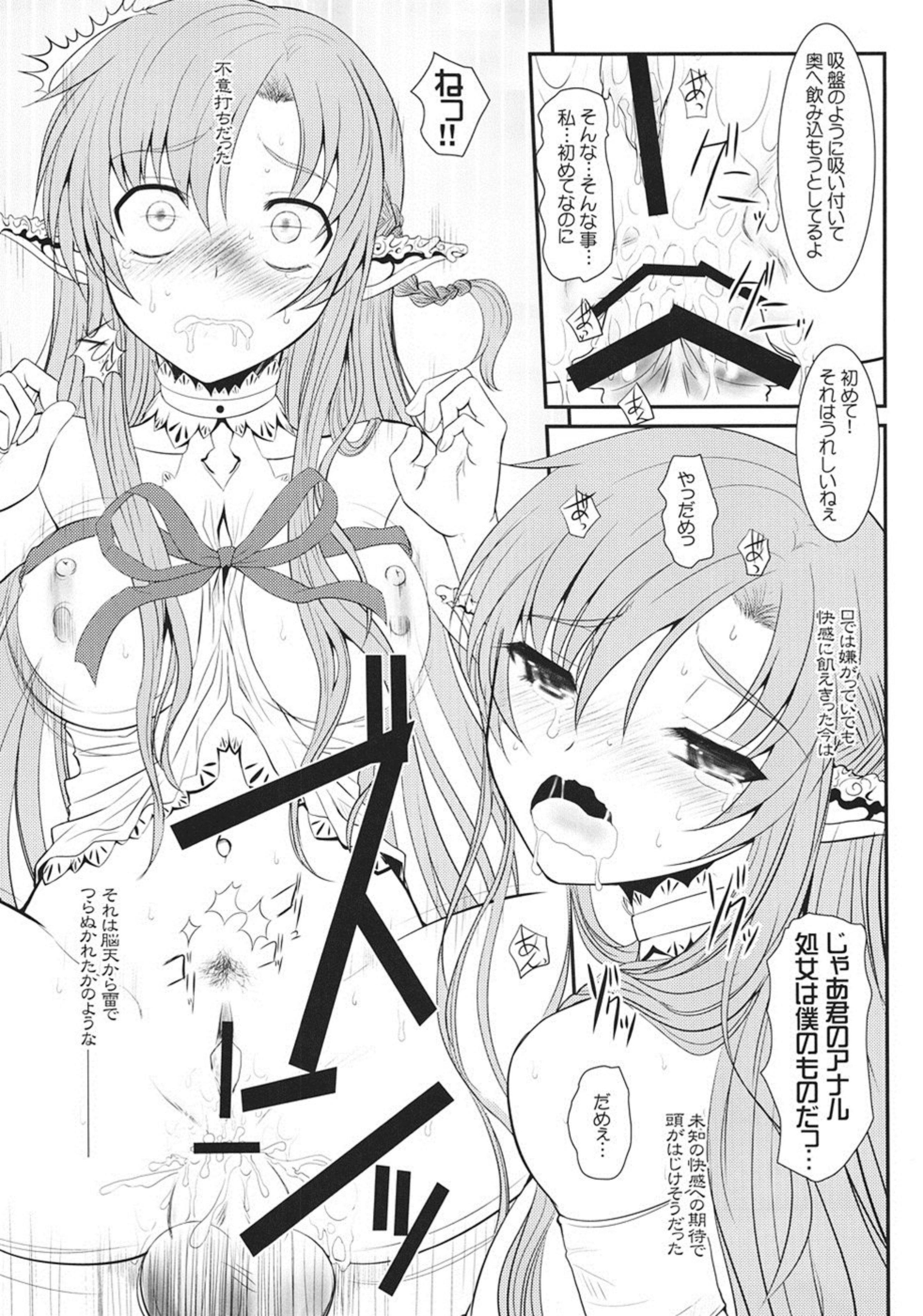
未知の快感への期待で  
頭がはじけそうだった

だめえ…

ねっ!!

不意打ちだった

それは脳天から雷で  
つらぬかれたかのような







まだあのクソガキに汚されていないこのケツ穴をねえ!

僕は最初からうちが狙いだっただよ

ククッ…クヒヒ

どうだいすこいだろう

本当のスイッチはこちだっただよ

意識が…はじけ飛んだ



くっくっく

ルルル

ルルル

ルルル



失禁までしたかはしたくないなあ

ククク…

でももっともっともっともこれからはしたくない姿を僕にたくさん見せるんだよね…ティーターア

これが…セックス…?

かわいいアへ顔晒してまったく聞こえてないのが残念だよ

こんな快感が体の中にあった…なん…て…

はー

はー

はー

はー

はー



あー

あー

あー

あー

あ

あー

あー

あー

ままだいっく

あー

あー

あー

あー  
ホントウのスィッチ  
こんなところにあつたなんて

あー  
おまんこのウラ側  
けずられるたびに  
何回せう...何回せ  
インチャってる

あー  
ケミの...  
ケミの...

あー

あー

スプ

スプ

スプ

スプ

スプ



バックでイッたとき  
一度抜かれそうに  
なったんだけど

ジュクジュクジュクジュク  
スイッチに当たった瞬間



いろんな体位でした

EEEE...アツアツの



めい...  
めい...やだあ

私...自分から足を絡めて  
抜かないでもっと...って  
おねだりしちゃってた



だめ...え...



あし...  
ケツ穴だ

もじもじ...もじもじケツ穴  
へへへへへへ...え

ケツ...ケツ穴あゝ

あつあつはハメハメくん

ああ…じいひやないでえ…

じゃあ、まず  
言っことがないかい？

あ…あ…

今からおちんぼを  
自分でケツ穴に  
くわえ込みます

肛門…ははははは  
気持ちよがし  
うんちを…うんち  
くわえ込むぞ



彼に見せつけるように  
自ずから恥ずかしい場所に  
ペニスをくわえ込んでいく

肛門を割り広げられる  
鮮烈な快感と



そのすべてを見られている  
羞恥の入り混じる快楽

あたまし…

あ

あ

あ

享受される  
全ての快感を貪るように

私は結合部をさらけ出し  
犬のように腰を振り続けた

あ

あ

あ

みえつ見えますかあ♡

私…う  
いやらしく尻を振って  
おちんぼハクハクハクハク

クボクボポケット穴で  
しつこさをしつこさを  
しつこさをしつこさをしつこさを

私…どんどん開発されてる  
どんどん…キモチイイ  
こと覚えちゃってる…

ああ、すばらしいですよ  
自ら下品にケツをほじり  
その姿を説明している所

既に薄れかかっている  
彼のことですら…その後ろ  
めたさを快感に変換して

いざ…言わないでっ  
彼のことは…言っちゃダメ

どうしてっ…

それを聞いて  
いっそうケツ穴を締め付け  
てるのは誰なんだい？

それはっ

ひたすら食欲に…犬のように

ここにいない彼にも是非  
今の君のステキな姿を  
見せてあげたいものだが  
ほんとうに残念だね

違う…違うの…ウン…  
そんなの知らない…っ

そうだ…  
もう私は…ただのメス犬

やあ…イウっ

快楽に負け快楽を貪る  
ただの盛ったメス犬…

肉

イッた…もはや数え  
きれない程の絶頂

射精…そして彼の  
ペニスがやっと抜けた

幾度となくめぐられた  
場所がジンジンとしびれ  
拡がったままの感覚…

そこへ…突然  
彼の口が

物欲しそうにヒクついて  
もはやただの快楽器官  
となり果てたケツの穴



すいすいだされっ

おっ

うっ



精液...吸い出されるっ

ほじられるっ



彼の...舌っ  
奥まで差し込まれて

なにっなにこれっ



さあ...これは  
キミのものだ

はあ



おっ

うっ



ふんふんふんふんふんふん

お尻が欲しがって  
いくのが…わかるの

私は…もう

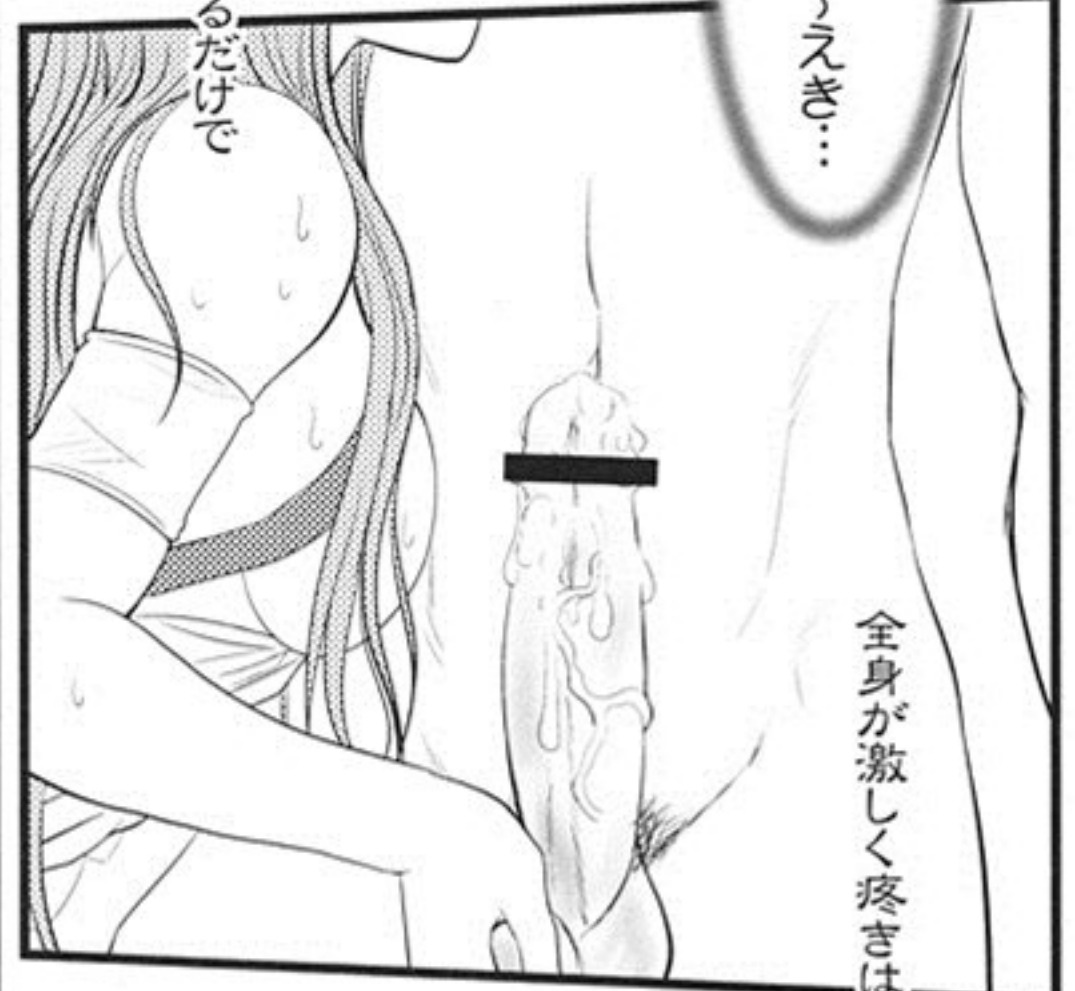


どうすればいいか…  
わかるね？



彼のソレを見るだけで

精液…私のせきえき…



全身が激しく疼きはじめる







◆POSTSCRIPT◆

あるぴーぬでございます。今回は久しぶりのラノベオンリー本なSAOアスナ本でした。中身は現在放送中、でもアニメよりは1クール分は先行したフェアリー・ダンス編がお題でございます。したがって、アニメから入った方にはインクラッド編にはほとんど触れてないとはいえ、実質的にはネタバレになってるだろうという、原作4巻まで読んだ方前提の本となっております(∇)(アニメのみの方は、アニメ後半のフェアリー・ダンス編まで寝かせて…というのも手かと)

そして…Darkside名義ですので普段のうちの本とは真逆の黒くて昏い感じのネタと思うです。今回は自分にとって初めてのNTR(?)がテーマの本になります。

…で、実際やってみるとやっぱりというか、めちゃ難しいですね。それはいつも通りのイチャラブ系でなら、アスナとキリトがバーチャルでもリアルでもいちゃいちゃ…ってな感じの話になるのですが、そういったラブラブ系本は既に出されてる本にしろこれから出る本にしろ、いろんなサークルさんが出されることとは思いますが…。なら自分はちょっと方向の違った…いっそ未体験のNTRをやってみるのも面白そうかもと思った次第です。(実際は友人な某T氏のNTR描くぞ宣言もきっかけというかインスパイアにはなりましたが(笑))で、それならインクラッド編でクラディールorラフコフあたりか(キバオウとかも面白かったかも)今回のフェアリー・ダンス編の須郷のどっちかしかないなと思ひ、よりクズで下衆野郎(笑)な須郷を寝取り相手に指名した次第であります。

そんなわけで、描いてる本人自体が挿絵でのオベイロンのニヤケ顔にムカムカしながら描いてるくらいなので、相当読後感のよろしくない、読む方を選ぶ話にはなっていると思っておりますので、NTR本とは知らずに間違えて入手してしまわれた方にはごめんなさいm(\_\_)m

…ただ、今回寝取られ対象のキリトくんがまるで出て来なかったのが、厳密な意味では「寝取られ」ではなく「寝取り」ものといった感じでしょうか。(その割にはアスナ視点だったりするんですが(爆))

それと、この話には一応続き…というか、後編があります。なるべく早い(放映中?)段階でそちらも発行したいとは思っていますが、現時点では秋サンクリが濃厚です。中身はまんま続編ですが、キリトくんも出てきますし、ある意味本当のNTRはここからなのかもしれません…ということで、アニメ版での展開(フェアリー・ダンス編)とリリースがほぼ同じタイミングになるだろう後編の方も、よろしければ読んでやってくだされば幸いです。

それではまた～。 20120812//あるぴーぬ。

◆オクツケ◆

スレイブ アスナ オンデマンド#001 // 2012.08.12 初版発行 // 発行 DIEPPE FACTORY Darkside // 印刷・POWER PRINT 18歳未満の入手・購読等一切の閲覧を禁ず。// WEB•<http://www.dieppefactory.com/> mail•[alpine@dieppefactory.com](mailto:alpine@dieppefactory.com)



# スレイブ アスタ オビデマンド

001

For **NTR** Maniax!!



DIEPPE  
FACTORY  
DARKSIDE  
2012  
SUMMER